

指導教員名	関 陽
-------	-----

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・国
	イベント支援・運営型		
	IT活用支援型		

～ 流通科学大学×兵庫県警察神戸西警察署連携計画 ～

活動の様子



企画・活動概要

2021年度から継続しているプロジェクトである。西警察署交通第1課と提携して交通安全につながる企画を検討・実行し、地域の交通安全の向上に寄与する。具体的にはホームページ形式の小学生向けの交通安全〇×クイズを作成し、小学生向けの交通安全啓蒙活動を行う。2022年度に入ってから、警察官と一緒に神戸市西区の神出小学校と榎野台小学校など、複数の小学校へ行って交通安全啓蒙のための授業をしてきた。また、西警察署に推薦されて交通安全県民大会で活動について発表を行った。活動が神戸新聞などのメディアで報道され、複数の賞を受賞した。



経緯・背景・目的

本企画は、兵庫県警察神戸西警察署交通第1課との連携で行う企画である。ゼミで交通安全につながる企画を検討し、神戸西警察署交通第1課に提案し、西区の小学校へ広げていく。具体的なテーマを小学生対象の交通安全〇×クイズに決定し、HTMLとjavascriptを用いてホームページ形式で作成した。ゼミ生が西警察署を訪れたり小学校を訪問してデモをしたりして、警察の方々と共同作業を通じて改良を重ねた。警察官とともに複数の小学校へ行って交通安全啓蒙のための授業をしてきた。



取り組む課題

交通安全ルールの勉強と再確認、全体構成の検討、交通安全クイズの内容と図形・画像素材の作成、クイズの解説、HTMLファイルとjavascriptプログラムの作成、テストとデバッグ、西署向けの制作物発表と提出、フィードバックを受けての改善策検討、改善・改良、小学校へのプレゼンテーション、小学生への啓蒙活動、活動の紹介など



本学(学生)の役割

主体的に取り組むこと



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

神戸西警察署から感謝状を授与され、ゼミが団体として奨励賞と飛翔賞、ゼミ生個人で流通科学大学賞を受賞した。2022年度交通安全県民大会で活動に関する発表を行った。学生たちが活動を通じて地域社会へ貢献を行ったと同時に大きく成長した。チャレンジする精神、チームで目的を達成する力、コミュニケーション力・説得力や表現力等を養えた。また、一つの情報製品をヒアリング・企画の段階から、開発、デバッグ、プレゼン、改良、納品、使用の段階まで通して経験できたことが、学生たちの就職活動において企業から大きく評価された。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部
経済情報学科
准教授
関 陽(カン ヨウ)

<専門・担当科目等>
データベース、応用プログラミング、情報処理入門、公務員特別演習Ⅰ、経済情報特別演習Ⅰ、経済情報学科へのいざない、専門基礎演習、研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究など

ゼミ生たちが勉強してきた専門知識を活用し地域に貢献するとともに、この社会共創活動を通じていろいろな面で大きく成長することを期待したい。

<関係者・企業等>



兵庫県警察神戸西警察署
永井課長(ナガイ カチョウ)、
櫻井課長(サクライ カチョウ)、
石橋係長(イシバシ カカリチョウ)

若い学生たちの柔らかい発想を期待している。作り手の学生たちが自らプレゼンして自分たちの制作物を小学校に広げ、連携して交通安全運動を推進していきたい。